

早稲田大学演劇博物館企画 国際シンポジウム

# 不可能への挑戦

形のないアートを保存する

博物館におけるパフォーマンスアートと  
メディアアートのアーカイブと展示を巡って

Challenging Impossibility: The Preservation of Intangible Arts  
Archiving and Exhibiting Performing and Media Arts at the Museum

2018年2月22日(木) 17:30-19:30 開場 17:00

会場 早稲田大学 国際会議場 第一会議室

参加無料

要事前予約 定員90人/先着順 日英同時通訳付

主催 早稲田大学演劇博物館、新宿から文化を国際発信する演劇博物館実行委員会

助成 平成29年度 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業



協力 テキサス大学オースティン校ハリーランサムセンター、ヴィクトリア&アルバート博物館、  
NTT InterCommunication Center



enpaku

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

# 不可能への挑戦 形のないアートを保存する

## Challenging Impossibility: The Preservation of Intangible Arts

### 博物館におけるパフォーマンスアートとメディアアートのアーカイブと展示を巡って

## Archiving and Exhibiting Performing and Media Arts at the Museum

近年、博物館では、パフォーマンスアートやメディアアートの分野におけるオリジナルの作品の保存方法が問題になっています。パフォーマンスアートは、上演作品そのものを保存することが難しく、関連資料を収集することで保存を行っています。メディアアートでは、テクノロジーの発展にともない、古い機器で製作された作品が再現・展示できない状況が生じています。こうした状況を踏まえ、本シンポジウムでは、国内外の博物館などから専門家をお招きし、保存の困難なアートをどのようにアーカイブし、展示していくかについて検討していきます。

#### プログラム

司会 岡室美奈子 Minako Okamura 早稲田大学演劇博物館館長

17:30 第一部 各館における取組みについて — 発表 —  
First Part: How Does Each Museum Archive and Exhibit Performing and Media Arts?

エリック・コリアー Eric Colleary

テキサス大学オースティン校ハリランサムセンター 演劇&パフォーマンスアート・キュレーター  
Cline Curator of Theatre and Performing Arts, Harry Ransom Center, University of Texas at Austin  
パフォーマンスを保存する 演劇をアーカイブするためのストラテジー

ラモーナ・ルジエフスキ Ramona Riedzewski

ヴィクトリア&アルバート博物館 演劇&パフォーマンス部門収蔵品管理部長  
Head of Collections Management, Department of Theatre and Performance, Victoria and Albert Museum  
ショーは続いていかなければならない 21世紀におけるヴィクトリア&アルバート博物館でのパフォーマンスアートの収集と文書化

畠中実 Minoru Hatanaka

NTT InterCommunication Center 主任学芸員  
ICCの映像アーカイブ「HIVE」と展開可能性について

土屋 紳一 Shinichi Tsuchiya

早稲田大学演劇博物館 デジタル・アーキビスト  
演劇アーカイブを補完するデータキュレーション

18:40 休憩

18:50 第二部 アーカイブの未来について — パネルディスカッション —  
Second Part: The Future of the Performing and Media Arts Archives

19:30 終了

※プログラムの一部を変更することがあります。ご了承ください。



テキサス大学オースティン校ハリランサムセンター (米)  
Harry Ransom Center

テキサス大学オースティン校にある人文科学図書館・博物館。センターには、アメリカやイギリスの演劇、ダンス、オペラに関する様々な資料(原稿、衣装、模型、ポスター、写真ほか)を収蔵。また、アメリカの演劇を代表するテネシー・ウィリアムズ、アーサー・ミラー、リリアン・ヘルマン、アドリアンス・ケネディなどの主要な演劇人のアーカイブが用意されている。



ヴィクトリア&アルバート博物館 (英)  
Victoria and Albert Museum

芸術とデザインに関する世界屈指の博物館で、陶磁器、家具、衣装類、ガラス細工、宝石など、3000年余りにおよぶ世界文明の遺物を収蔵。V&Aの演劇とパフォーマンスのコレクションには、イギリスのパフォーマンスの最近の実践とあらゆる歴史が記録されている。また、そのアーカイブには、主要な演劇、劇団、20世紀の舞台美術家、俳優、演出家などが収められている。



NTT インターコミュニケーションセンター  
NTT InterCommunication Center

ICCは、「コミュニケーション」をテーマとして科学技術と芸術文化の対話を促進し、豊かな未来社会を構想することを目指して活動するNTT東日本が運営する文化施設。所蔵するビデオ・アート作品、アーティストや科学者等のインタビュー、過去の展示などを、館内に設置された視聴端末や、ウェブサイトで視聴可能な映像アーカイブ「HIVE」を公開している。



早稲田大学 坪内博士記念演劇博物館  
The Tsubouchi Memorial Theatre Museum

2018年に90周年を迎える早稲田大学演劇博物館は、1997年の浮世絵データベース構築をきっかけに、20年以上にわたり演劇資料を中心としたデータベース化と一般公開の拡充を続けてきた。役者絵は世界最多の公開数であり、近年では3Dデータをブラウザ上で閲覧可能とするなど、新技術にも取り組んでいる。

※早稲田大学構内は、入学試験期間中のため立ち入りできません。こちらのルートをご参考にお越しくさいますよう、お願いいたします。



日時 2018年2月22日(木) 17:30-19:30 開場17:00

会場 早稲田大学 国際会議場 第一会議室

定員 90人 ※要事前予約／先着順

お申込み

2018年1月19日(金) 10:00よりウェブサイトにて受付開始

<http://www.waseda.jp/enpaku/>

アクセス

● 都電荒川線 早稲田駅 徒歩3分

● JR山手線・西武新宿線 高田馬場駅(早稲田口)から 都営バス「早大正門」行 西早稲田下車 徒歩6分

● 東京メトロ東西線 早稲田駅 徒歩13分

お問い合わせ

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 TEL 03-5286-1829 平日9:00-17:00

✉ [enpaku@list.waseda.jp](mailto:enpaku@list.waseda.jp) @waseda\_ENPAKU @WasedaUENPAKU/



WASEDA  
University